

TAMANA
CITY
HALL



玉名市役所新庁舎のご案内

更なる市民サービスの充実を目指して



■ 周辺航空写真



■ 施設概要

名称	玉名市役所本庁舎
所在地	玉名市岩崎 163 番地
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
規模	地上 4 階
敷地面積	30,680 m ²
建築面積	3,595.40 m ²
	庁舎棟 3,286.32 m ²
	附属棟 309.08 m ²
延床面積	10,489.04 m ²
	庁舎棟 10,179.96 m ²
	附属棟 309.08 m ²
建築年度	平成 25 年度～ 26 年度
昇降機	エレベーター (15 人乗り) 2 台
駐車場	一般駐車場 223 台
	うち、身障者用駐車場 5 台
総事業費	約 39.6 億円

■ 建設経過概要

H17 年 10 月	市町合併 新「玉名市」誕生
H19 年 3 月	新庁舎建設基本構想策定
H20 年 3 月	基本設計の完了
H21 年 11 月	計画の見直しを開始
H21 年 12 月	市議会特別委員会発足
H22 年 4 月	建設検討委員会の発足
H22 年 9 月	建設検討委員会から建議
H23 年 1 月	建設位置を「市民会館付近」と再決定
H23 年 6 月	実施設計着手 (設計見直しを含む)
H24 年 3 月	実施設計の完了
H24 年 12 月	用地買収完了
H25 年 1 月	造成工事に着手
H25 年 7 月	建築工事に着工
H26 年 11 月	駐車場工区完成
H26 年 12 月	建築工事及び外構工事竣工
H27 年 1 月	新庁舎供用開始

■ 新庁舎の特徴



誰もが使いやすいユニバーサルデザイン

新庁舎では、高齢者や障がい者などの身体的な障壁の除去に配慮することはもとより、誰もが使いやすいユニバーサルデザインの理念に沿ったものとしています。
多目的トイレ、身障者用駐車場、エレベーター、スロープ、サイン計画など。



耐震性の確保

耐震グレードは、「官庁施設の総合耐震計画基準」に準拠し、一般官庁施設の1.5倍と非常に高い耐震性で建設しています。
仮に震度6弱の地震が起こったとしても、軽微な被害で収まります。



窓口部門の1階への集約と余裕あるロビー空間

これまでの本庁舎では2階にあった税務課を1階に配置するなど、市民の利用が多い窓口部門を1階のワンフロアに集約しています。
また、市民ロビーは1階の中央に十分な広さが確保され、来庁者からの見通しが良く分かりやすい窓口空間となります。



ランニングコストの削減 (省エネアイテム)

市役所などの公共建築物には、維持管理経費の効率性がこれまで以上に求められているため、次の省エネアイテムを採用しました。
高断熱ガラス（断熱性）、庇&ルーバー（日射抑制）、トップライト（自然採光）、LED照明、初期照度補正、昼光センサー及び人感センサー等（省電力）、クールトレンチ（地熱利用による空調負荷低減）

